

看護部長の方へ

【研究代表者】

東京医療保健大学
副学長 坂本すが

病院における看護補助者の確保および活用に関する実態調査 アンケート調査へのご協力をお願い

本調査は、全国の病院の看護部長と、各病院で看護業務をサポートするスタッフの方1名にそれぞれご回答いただくことにしております。

つきましては、次の2点につきまして、ご協力いただきたくよろしくお願いいたします。

看護部長の方は、下記の Web サイト (URL) にアクセスし、お答えいただくようお願いいたします。人事関連の調査項目につきましては、人事部門にもご確認の上、ご回答をお願いします。無記名ですので、回答者の病院名が特定されることはありません。回答に要する時間は 40 分程度です。回答は、7月31日から8月20日までの間にお願いいたします。

貴病院の看護補助者(別称：看護業務サポートスタッフ)1名を選んでいただき、アンケート調査への協力を依頼していただくようお願いいたします。選び方としましては、スマートフォンなどを用いてアンケートに回答可能な方の中で、姓がアイウエオ順の最初の方を1名を選んでいただきますようお願いいたします。回答は、7月31日から8月20日までの間にお願いいたします。

記

看護管理者の調査画面の入力先 (URL)

<https://nurseaid.limequery.com/231514?lang=ja>



* 調査票の入力内容 (P3 ~ P13)

本研究における看護補助者(別称：看護業務サポートスタッフ)の定義

看護補助者は、「看護師の指示のもとに業務を行っている看護資格をもたない被雇用者」とし、直接雇用、派遣、委託を含みます。ただし、清掃業者など、看護師が日常指示せず実施されている業務委託は含みません。また、ボランティアは含みません。

回答にあたりましては、調査参加への同意を確認させていただいております。調査協力にご同意いただけます場合は、最初に協力の意思について伺いますので、「協力します」を選択ください。

Web 調査は無記名の調査となるため、データ発信後は、どなたのデータかの判別をすることはできず、提出いただいた記載内容を取り消すことができません。最終の発信前は、データ発信を行わないことで、研究への参加を取りやめることができます。

調査結果は、厚生労働省の公開されたデータベース（厚生労働科学研究成果データベース報告システム）に登録しますのでそこからご覧になることができます。

【調査に関する連絡先】

〒141-8648 東京都品川区東五反田 4 -1-17 東京医療保健大学医療保健学部看護学科
e-mail : m-sasaki@thcu.ac.jp TEL : 03-5421-7656-401 (直通) 佐々木美奈子

【研究倫理に関する連絡先】

東京医療保健大学ヒトに関する研究倫理委員会 e-mail: kenkyo@thcu.ac.jp
TEL:03-5421-7655 (代表)(電話連絡対応可能時間帯 平日 9時~17時)

病院における看護補助者の確保および活用に関する実態調査

看護管理者票

URL : <https://nurseaid.limequery.com/231514?lang=ja>

画面は問ごとに切り替わります

調査協力にご同意いただけます場合は、最初に協力の意思について伺いますので、「協力します」を選択してください。

記入にあたって

- ・ この調査票は、看護管理責任者の方がご記入ください。人事関連項目については、人事部門に確認の上、ご記入ください。
- ・ 看護補助者は、「看護師の指示のもとに業務を行っている看護資格をもたない被雇用者」とし、直接雇用、派遣、委託を含みます。業務内容は、看護師の指示のもとに行っていれば、周辺業務、直接ケアのすべてを含みます。ただし、清掃業者など、看護師が日常指示せず実施されている業務委託は含みません。また、ボランティアは含みません。
- ・ 令和元年8月1日現在の状況についてご回答ください。
- ・ あてはまる選択肢の番号を選んで 印をお付けください。
- ・ () の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入ください。
- ・ 数値を記入する際に、小数点が生じる場合は、小数第2位を四捨五入して、小数第1位まででご回答ください。

．病院に関する基本情報

問1． 都道府県所在地

- | | | | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|---------|---------|---------|
| 0 1 北海道 | 0 2 青 森 | 0 3 岩 手 | 0 4 宮 城 | 0 5 秋 田 | 0 6 山 形 | 0 7 福 島 |
| 0 8 茨 城 | 0 9 栃 木 | 1 0 群 馬 | 1 1 埼 玉 | 1 2 千 葉 | 1 3 東 京 | 1 4 神奈川 |
| 1 5 新 潟 | 1 6 富 山 | 1 7 石 川 | 1 8 福 井 | 1 9 山 梨 | 2 0 長 野 | 2 1 岐 阜 |
| 2 2 静 岡 | 2 3 愛 知 | 2 4 三 重 | 2 5 滋 賀 | 2 6 京 都 | 2 7 大 阪 | 2 8 兵 庫 |
| 2 9 奈 良 | 3 0 和歌山 | 3 1 鳥 取 | 3 2 島 根 | 3 3 岡 山 | 3 4 広 島 | 3 5 山 口 |
| 3 6 徳 島 | 3 7 香 川 | 3 8 愛 媛 | 3 9 高 知 | 4 0 福 岡 | 4 1 佐 賀 | 4 2 長 崎 |
| 4 3 熊 本 | 4 4 大 分 | 4 5 宮 崎 | 4 6 鹿 児 島 | 4 7 沖 縄 | | |

問2． 設置主体

- | | | |
|------------------|-------------|------------|
| 1．国等（独立行政法人含む） | 2．都道府県・市区町村 | 3．その他の公的団体 |
| 4．社会保険関係団体 | 5．私立学校法人 | 6．公益法人 |
| 7．医療法人（社会医療法人含む） | 8．個人 | 9．その他（ ） |

問3． 施設種別

- 1) 施設の種別を教えてください。
- | | | |
|------------|------------|-----------------------|
| 1．特定機能病院 | 2．地域医療支援病院 | 3．精神病院(精神科病棟のみを有する病院) |
| 4．その他の一般病院 | 5．その他（ ） | |
- 2) 介護保険適用病床はありますか？
- | | |
|----------|------|
| 1．あり（ ）床 | 2．なし |
|----------|------|

問4．許可病床数を教えてください

- | | | |
|------------|----------|------------|
| 1．49床以下 | 2．50～99床 | 3．100～199床 |
| 4．200～399床 | 5．400床以上 | |

問 5 . 平均病床稼働率についてご記入ください。

平均病床稼働率 ()%

問 6 . 平成 30 年 11 月時点で、貴施設において算定している病棟入院基本料・特定入院料について、
あてはまる数字すべてにをつけてください。

- | | | |
|------------------------------|--------------------|------------------------------|
| 1 . 急性期一般入院料 1 | 2 . 急性期一般入院料 2 ~ 5 | 3 . 急性期一般入院料 6 ・ 7 |
| 4 . 地域一般入院料 1 ・ 2 | 5 . 地域一般入院料 3 | 6 . 療養病棟入院基本料 |
| 7 . 精神病棟入院基本料 | 8 . 特定機能病院入院基本料 | 9 . 専門病院入院基本料 |
| 10 . 障害者施設等入院基本料 | 11 . 救命救急入院料 | 12 . 集中治療・ハイケアユニット入院医療管理料等 |
| 13 . 小児入院医療管理料 | | 14 . 回復期リハビリテーション病棟入院料 1 ・ 2 |
| 15 . 回復期リハビリテーション病棟入院料 3 ~ 6 | | 16 . 地域包括ケア病棟入院料・医療管理料 |
| 17 . 緩和ケア病棟入院料 | | 18 . その他 () |

・看護補助者の位置づけと人数について

問 7 . 貴病院では看護補助者をどのような雇用形態で活用していますか？ (いくつでも)

- 1 . 正規職員として直接雇用
- 2 . 非正規職員 (パート、アルバイト、非常勤嘱託などの非常勤職員) として直接雇用
- 3 . 派遣職員
- 4 . 看護補助業務を業務委託
- 5 . 現在、看護補助者を活用していない 問 14 へ

問 8 貴病院では、看護補助者は組織上どの部署に位置づけられていますか？

- 1 . 看護部直下
- 2 . 看護部門内の病棟等
- 3 . 看護部門内の看護補助者だけの部署
- 4 . 看護部門とは異なる看護補助者だけの部門
- 5 . その他 ()

問 9 . 貴病院における看護補助者 (無資格者) の職名を教えてください。

- 1 . 看護補助者
- 2 . 看護助手
- 3 . 看護アシスタント
- 4 . ナースエイド
- 5 . ケアワーカー
- 6 . その他 (具体的にご記入ください)

問 10 . 病院で活用している看護補助者の常勤換算人数と実人数を雇用形態別にご記入ください。
 実人数については、(再掲)で介護福祉士の取得者数、学生数をそれぞれご記入ください。
 学生数には、看護系・介護系に拘らずアルバイト等で勤務している学生数を再掲してください。
 該当する看護補助者がいない場合には「0」を記入してください。

* 「非正規」には、パート・アルバイト・非常勤嘱託などの非常勤職員を含みます。
 * 常勤換算人数は、小数第 2 位を四捨五入して、小数第 1 位までご回答ください。

雇用形態	常勤換算人数 (小数第 1 位まで)	実人数		
		総数	(再掲)	(再掲)
			介護福祉士数	学生数
直接雇用(正規)	人	人	人	人
直接雇用(非正規)	人	人	人	人
派遣職員	人	人	人	人
業務委託職員	人	人	人	人
計	人	人	人	人

問 11 . 病院で活用している看護補助者について、年齢階層別実人数を雇用形態別にご記入ください。
 該当する看護補助者がいない場合には「0」を記入してください。

雇用形態	実人数 総数	29歳 以下	30~ 39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	70歳 以上
直接雇用(正規)	人	人	人	人	人	人	人
直接雇用(非正規)	人	人	人	人	人	人	人
派遣職員	人	人	人	人	人	人	人
業務委託職員	人	人	人	人	人	人	人
計	人	人	人	人	人	人	人

問 12 . 看護補助者の中で、短時間勤務者、一部でも夜勤・休日・早出・遅出勤務に従事する実人数を雇用
 形態別にご記入ください。
 短時間・夜勤・休日・早出・遅出勤務の複数の勤務形態に従事する看護補助者は、各欄に計上してく
 ださい。
 該当する看護補助者がいない場合には「0」を記入してください。

雇用形態	実人数 総数	(再掲) 短時間勤務者	(再掲) 夜勤従事者	(再掲) 休日勤務従事者	(再掲) 早出従事者	(再掲) 遅出従事者
直接雇用(正規)	人	人	人	人	人	人
直接雇用(非正規)	人	人	人	人	人	人
派遣職員	人	人	人	人	人	人
業務委託職員	人	人	人	人	人	人
計	人	人	人	人	人	人

問 13. 貴病院で看護補助者に関する加算を算定している病棟と算定していない病棟・部署それぞれについて、病棟数（部署数）及び、配置している補助者人数をご記入ください。

該当する病棟数が複数の場合は、合計した人数をご記入ください。

* 常勤換算人数は、小数第 2 位を四捨五入して、小数第 1 位までご回答ください。

加算算定病棟での補助者の配置について	病棟数 (部署数)	補助者人数 (常勤換算)	補助者人数 (実人数)
1. 急性期看護補助体制加算 (25 対 1)	病棟	人	人
2. 急性期看護補助体制加算 (50 対 1)	病棟	人	人
3. 急性期看護補助体制加算 (75 対 1)	病棟	人	人
4. 看護補助加算 (1)	病棟	人	人
5. 看護補助加算 (2)	病棟	人	人
6. 看護補助加算 (3)	病棟	人	人
加算非算定部署での補助者の配置について			
7. 病棟部門 (急性期)	病棟	人	人
8. 病棟部門 (慢性期)	病棟	人	人
9. 外来部門	部署	人	人
10. 検査部門	部署	人	人
11. 中材部門	部署	人	人
12. 手術室	部署	人	人
13. ICU・CCU・SCU・NICU	部署	人	人
14. その他の部署 ()	部署	人	人
15. 配置部署を定めない		人	人

問 14. 貴病院において、看護補助者は充足していますか？

1. 十分充足している 2. まあ充足している 3. やや不足している 4. 非常に不足している

問 15. 貴病院における看護補助者の確保について、今後の方針を教えてください。

1. 増やす
 2. 現状維持 問 17 へ
 3. 減らす 問 17 へ
 4. 今後とも看護補助者は活用しない 質問は終了です。ご協力ありがとうございました。

問 16. 貴病院ではどのような雇用・就労形態で看護補助者を増やしたいと考えていますか？
 (いくつでも)

1. 正規職員 (直接雇用) を増やしたい
 2. 非正規職員 (直接雇用) として通常の労働時間勤務できる職員を増やしたい
 3. 非正規職員 (直接雇用) として短時間でスポット的に働く職員を増やしたい
 4. 派遣職員を増やしたい
 5. 業務委託を増やしたい

問 17. 貴病院が看護補助者を活用する理由を教えてください。(いくつでも)

1. ケア充実のため提供する看護量を増やしたい
2. 看護職の業務を効率化し、専門性の向上を図りたい
3. 看護職の休暇取得や残業軽減を図りたい
4. 看護職不足のため看護補助者を活用せざるを得ない
5. 看護補助者を増やして看護職数を必要最小限に抑えたい
6. 医療資格を持たない人がチームに入ること、患者の理解が深まる
7. 地域住民が看護補助者として病院に入ること、住民の医療理解につながる
8. その他()

問 18. 貴病院では、どのような人材を看護補助者として採用したいと考えていますか(三つまで)

1. 介護職員初任者研修修了者
2. 介護職員実務者研修修了者
3. 介護福祉士
4. 看護補助者対象の研修を何らかのかたちで受けたことがある人
5. 介護・福祉分野で仕事をしたことがある人
6. 医療分野で仕事をしたことがある人
7. 人の世話をすることに向いている人
8. その他()

問 19. 貴病院では、どのような層から看護補助者を採用したいと考えていますか(三つまで)

1. 看護や介護の道を目指す学生(進学希望者含む)
2. 勤めていない主婦
3. 家族で農林水産業・自営業を営む主婦
4. 定年退職後の女性
5. 定年退職後の男性
6. 定年ではないが勤めを辞めた方
7. その他()

看護補助者を活用していない病院はここで質問終了です。ご協力ありがとうございました。

・看護補助者の採用・労務管理について

問 20. 看護補助者の主な採用ルートに○をつけてください。(いくつでも)

1. ハローワーク
2. 有料職業紹介所
3. 派遣会社
4. 求人広告(民間求人サイト・SNS)
5. 求人広告(フリーペーパー・タウンペーパー)
6. 求人広告(折込チラシ)
7. 求人広告(新聞)
8. 病院のホームページ
9. 知人の紹介
10. その他()

問 21 . 看護補助者確保のため有料職業紹介所や派遣会社を活用している場合、その年間経費をご記入ください。

有料職業紹介所や派遣会社を活用していない場合は、問 22 にお進みください。

	平成 30 年度に支払った年間総額 (税込み)
有料職業紹介所	万円
派遣会社	万円

問 22 . 貴病院が直接雇用している看護補助者の平成 30 年度における 募集人数、採用者数、離職率、平均勤続年数についてご記入ください。

正規職員と非正規職員それぞれについてもご記入ください。

* 離職率と平均勤続年数については、小数第 2 位を四捨五入して小数第 1 位までお答えください。

平成 30 年度	実人数 計	実人数	
		正規職員	非正規職員
看護補助者 募集人数	人	人	人
看護補助者 採用者数	人	人	人
看護補助者 離職率 *	%	%	%
看護補助者 平均勤続年数	年	年	年

$$* \text{離職率} = \frac{\text{平成 30 年度退職者数}}{(\text{年度当初の在籍看護補助者数} + \text{年度末の在籍看護補助者数}) \div 2} \times 100$$

【直接雇用している看護補助者の賃金体系】

問 23 . 直接雇用している看護補助者の人事考課に関して、正規職員・非正規職員それぞれについてお答えください。

正規職員 (看護補助者)	非正規職員 (看護補助者)
1 . 人事考課を行い、給与に反映させている 2 . 人事考課は行っているが、給与には反映させていない 3 . 人事考課は行っていない	1 . 人事考課を行い、給与に反映させている 2 . 人事考課は行っているが、給与には反映させていない 3 . 人事考課は行っていない

問 24 . 看護補助者の基本給の体系に関して、正規職員・非正規職員それぞれについてお答えください。

(いくつかでも)

正規職員の基本給の体系	非正規職員の基本給の体系
1 . 勤続年数に対応する給与体系 2 . 職務に対応する給与体系 3 . 職能に対応する給与体系 4 . 勤続年数等に関係なく同一賃金	1. 勤続年数に対応する給与体系 2. 職務に対応する給与体系 3. 職能に対応する給与体系 4. 勤続年数等に関係なく同一賃金

問 25 . 看護補助者に支給している手当に関して、正規職員・非正規職員それぞれについてお答えください。
(いくつでも)

正規職員の手当て	非正規職員の手当て
1 . 夜間勤務手当 2 . 休日勤務手当 3 . リーダー手当 4 . 資格手当 (介護福祉士など) 5 . その他の手当 ()	1 . 夜間勤務手当 2 . 休日勤務手当 3 . リーダー手当 4 . 資格手当 (介護福祉士など) 5 . その他の手当 ()

問 26 . 看護補助者 1 人当たりの平成 30 年度給与支払い総額 (年間・税込み) の平均額について、正規職員・非正規職員別々にご記入ください。

正規職員	非正規職員
平均 万円 / 年	平均 万円 / 年

問 27 . 非正規職員の看護補助者について、平均時給をご記入ください。
月給制・日給制の場合は時給に換算してください。

非正規職員の平均時給
平均 円 / 時間

問 28 . 非正規職員の看護補助者について、給与の計算方法を教えてください。

- 1 . 月給制 2 . 日給制 3 . 時給制

・看護補助者の役割・研修について

問 29 . 貴病院では、看護補助者の業務を文書で規定していますか？

- 1 . 文書で規定している
2 . 文書では規定していない 問 31 へ

問 30 . 看護補助者の業務を規定した文書の最新版の作成時期 (見直し時期) を教えてください。

- 1 . 2010 年以前
2 . 2011 年 ~ 2013 年
3 . 2014 年 ~ 2016 年
4 . 2017 年以降

問 31 . 貴病院では、看護補助者の業務範囲の中で、介護福祉士等の資格を有する者と無資格の看護補助者とで業務内容を分けていますか？

- 1 . 分けている
2 . 分けていない
3 . 介護福祉士等はいない

問 32 . 貴病院における現在の看護補助者の業務内容と、現在は実施していないが今後活用したいと考えている業務内容にそれぞれ○をつけてください。

看護補助者の業務内容			現在の業務	今後活用したい業務
周辺業務	生活環境	1 . 病床及び病床周辺の清掃・整頓		
		2 . 病室環境の調整（温度、湿度、採光、換気など）		
		3 . シーツ交換やベッドメイキング		
		4 . リネン類の管理		
	診療の周辺業務	5 . 処置・検査等の伝票類の準備・整備		
		6 . 診療に必要な書類の整備・補充		
		7 . 入退院・転出入に関する業務（書類や請求書等の配布、回収、作成など）		
		8 . 薬剤の搬送（運搬）		
		9 . 検体・レントゲンフィルムの搬送		
		10 . 診察に必要な機械・器具等の準備、片付け		
		11 . 診療材料の補充・整理		
直接ケア	日常生活に関わる業務	12 . 食事介助		
		13 . 配膳・下膳		
		14 . 口腔ケア		
		15 . 身体の清潔に関する業務		
		16 . 寝衣交換		
		17 . おむつ交換		
		18 . トイレ介助		
		19 . 膀胱内留置カテーテルのバッグに溜まった尿の廃棄		
		20 . 安全・安楽に関する業務（体位交換など）		
		21 . 患者の移動・移送		
		22 . 見守り		

問 33 . 上記以外の業務で看護補助者を活用している業務がありましたら、ご記入ください。

問 34 . 看護補助者の活用にあたり、補助者の業務手順・看護師からの委譲手順（指示書）は文書で明確になっていますか？下記の各業務について、それぞれ番号をご記入ください。
病棟により状況が異なる場合は、病院全体として代表的な部署でお答えください。

- 1 . 文書で明確に決まっている
- 2 . 文書はあるが、詳細は任されている
- 3 . 文書はなく、慣用的なルールがある
- 4 . 文書はなく、各看護師の指導に任せてある

看護補助者の業務内容		補助者用の業務手順書	看護師用の委譲手順書	
周辺業務	生活環境	1 . 病床及び病床周辺の清掃・整頓		
		2 . 病室環境の調整（温度、湿度、採光、換気など）		
		3 . シーツ交換やベッドメイキング		
		4 . リネン類の管理		
	診療の周辺業務	5 . 処置・検査等の伝票類の準備・整備		
		6 . 診療に必要な書類の整備・補充		
		7 . 入退院・転出入に関する業務（書類や請求書等の配布、回収、作成など）		
		8 . 薬剤の搬送（運搬）		
		9 . 検体・レントゲンフィルムの搬送		
		10 . 診察に必要な機械・器具等の準備、片付け		
		11 . 診療材料の補充・整理		
直接ケア	日常生活に関わる業務	12 . 食事介助		
		13 . 配膳・下膳		
		14 . 口腔ケア		
		15 . 身体の清潔に関する業務		
		16 . 寝衣交換		
		17 . おむつ交換		
		18 . トイレ介助		
		19 . 膀胱内留置カテーテルのバッグに溜まった尿の廃棄		
		20 . 安全・安楽に関する業務（体位交換など）		
		21 . 患者の移動・移送		
		22 . 見守り		

問 35 . 貴病院では看護補助者の役割をどのように考えていますか？ あてはまるものに一つ○をつけてください。

- 1 . 患者ケアを看護職と共に担う看護チームのメンバーである
- 2 . 患者ケアの一部は担うが、看護チームのメンバーというより、指示で業務を行う補助者である
- 3 . 患者ケアは看護職だけで行うので、看護職の周辺業務のみ行う補助者である。
- 4 . その他（ ）

問 36 . 貴病院において、看護補助者の活用を進める上で課題となっていることをお答えください。
(いくつかでも)

1. 看護補助者数の確保
2. 看護補助者の能力・適性
3. 看護職と看護補助者の明確な業務区分
4. 看護職の看護補助者への的確な指示・業務委譲
5. 看護職と看護補助者とのチームワーク
6. 看護補助者の有効な活用に関する病棟師長等の理解
7. 看護補助者活用に関する病院方針の明確化
8. その他 ()

問 37 . 貴病院で実施している看護補助者に関する研修について教えてください。
(あてはまるもの全てに)

- 1 . 看護補助者を対象とした定期研修 (年 1 回など) を実施している
- 2 . 看護補助者を対象として、年 1 回の定期研修以外に、部署配置前に研修を実施している
- 3 . 看護補助者である正規職員と非正規職員に対し同じ研修を実施している
- 4 . 短時間就労者を含め、すべての看護補助者に対し、研修を実施している
- 5 . 看護師長を対象とした看護補助者との協働についての研修を実施している
- 6 . 看護職を対象とした看護補助者との協働についての研修を実施している
- 7 . チーム作りの為に看護職と看護補助者一緒に研修を実施している
- 8 . その他 ()

問 38 . 貴病院では看護補助者対象に下記の研修を実施していますか。実施している場合、看護補助業務の質を維持する上で内容や時間数は十分なものですか？ 研修内容ごとにお答えください。

研修内容	研修実施状況
1 . 医療制度の概要および病院の機能と組織の理解	1 . 実施しており過不足はない 2 . 実施しているが強化が必要 3 . 実施していない
2 . 医療チームおよび看護チームの一員としての看護補助業務の理解	1 . 実施しており過不足はない 2 . 実施しているが強化が必要 3 . 実施していない
3 . 看護補助業務を遂行するための基礎的な知識・理解	1 . 実施しており過不足はない 2 . 実施しているが強化が必要 3 . 実施していない
4 . 日常生活に関わる業務	1 . 実施しており過不足はない 2 . 実施しているが強化が必要 3 . 実施していない
5 . 守秘義務、個人情報の保護	1 . 実施しており過不足はない 2 . 実施しているが強化が必要 3 . 実施していない
6 . 看護補助業務における医療安全と感染防止	1 . 実施しており過不足はない 2 . 実施しているが強化が必要 3 . 実施していない

問 39 . 看護補助者に関する上記問 38 の研修以外に、さらに追加する必要がある内容・追加している内容がありましたらご記入ください。

問 40 . 今後の看護補助者の育成についてどのように考えていますか？（いくつでも）

1. 病院内の教育研修を充実し、育成したい
2. 病院内で看護職が看護補助者の実践を評価し、現任教育で育てたい
3. 看護職が看護補助者を上手に育成できるよう、看護職の研修を充実したい
4. 看護補助者対象の外部研修があれば活用して育成したい
5. 病院内で育成するのではなく、外部で育成された人材を採用したい
6. その他（ ）

・看護補助者の確保・定着対策について

問 41 . 看護補助者の確保が困難な理由をどのように考えていますか？

- 1 . 給与が低い
- 2 . 職業としての魅力が少ない
- 3 . 勤務日・勤務時間の希望が通らない
- 4 . 夜勤がある
- 5 . 他に魅力的な職場がある
- 6 . その他（ ）
- 7 . 看護補助者の確保に困難を感じていない

問 42 . 看護補助者の確保・定着で工夫していることにすべて○をつけてください。
その中で最も大切だと考えていることに一つ をつけてください。

1. 給与の充実
2. 福利厚生充実
3. 勤務日数を選べるようにする
4. 勤務時間帯を選べるようにする
5. 希望に沿った部署に配置する
6. 職場のハラスメント対策
7. 正規職員として雇用する
8. 看護補助者の業務内容を文書で明示する
9. 上司との面談の機会を設ける
10. 人事考課で能力を評価する
11. 看護補助者対象の教育・研修の充実
12. 資格を取れるように支援する
13. 看護職と看護補助者のチームワークのあり方を明確に示す
14. 看護職を対象とした看護補助者とのチームワークに関する教育・研修
15. 呼び名を工夫する（具体的にご記入ください）
16. ユニフォームを選べるようにする
17. その他（ ）

問 43 . 最後に看護補助者に関することでご意見がございましたら、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。